



# あたらしき大地



大阪木材工場団地協同組合

キラリ！ 夢と調和の発信基地

1992年 12月号 No. 50

“あたらしき大地” 発刊 50号によせて



理事長 成瀬良彦

広報紙“あたらしき大地”は当協同組合の動きを組合員に知ってもらうために昭和59年3月に創刊され、足かけ9年を経過しました。当初は組合内部や団地内の動き、組合員の会社紹介など限られた範囲の情報でしたがその後、団地内の状況や組合事業の活性化に伴って多種多様な情報提供が要請され、次第に盛り沢山の記事が掲載されるようになりました。

このたび、第50号が発刊されるのを機会に当団地内の“友好企業”（木材団地協同組合のメンバー以外でこの団地内に立地されている企業の方々を、われわれはこのように名付けています。）の皆様にもご覧いただき、当協同組合への理解を深めていただくように、そして木材団地全体の情報紙としてその輪を広げ、出来れば異業種交流の場につなげるよう、又お互いの情報を提供し合うかけ橋として位置づけられることを切に期待しています。

今日まで30年近くお互いに同一地域で共に事業を営んできた当組合員企業と友好企業が今後とも一層の友好関係を深め、この“あたらしき大地”が双方の絆となって今後の発展の一助となることを心から念願しております。

なおこの機会に当協同組合の事業施設及び共同事業の項目を友好企業の皆様へ参考までにご紹介しておきます。



〈組合の事業施設〉

- |                          |      |
|--------------------------|------|
| ① ウッドリーム大阪（木材利用普及研修センター） | 組合直営 |
| ② ドライテック美原（木材乾燥工場）       | ”    |
| ③ 共同倉庫                   | ”    |

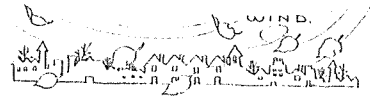
- ④ 共同駐車場（南、北駐車場）
- ⑤ 簡易郵便局
- ⑥ 汚水処理場
- ⑦ ガソリンスタンド
- ⑧ フォークリフト修理工場
- ⑨ グルメドーム（レストラン）
- ⑩ やすら木（喫茶施設）
- ⑪ ホームセンター（DIY店）



委託経営

〈組合の共同事業〉

- ① 情報教育事業
- ② 研修事業
- ③ 環境整備事業
- ④ 金融事業
- ⑤ ウッドフェア



目次	
環境整備すぐやる課だより	3
ちょっと一言	4
クボタ精機(株) 小沢 敏明	4
ウッドリーム大阪だより	4
わたしのオアシス	5
山本 郁生	5
事務局だより	10
周辺の「味」散歩	6
新刊図書紹介	11
木栄会だより	7
樹木あれこれ	8
団地内のうごき	9

**企業を守る損害保険のことなら**  
**(株)大阪木材団地サービスへ**  
 各種 火災・傷害保険を取り扱っております。  
 南河内郡美原町木材通四丁目1番1号  
 大阪木材工場団地協同組合内 tel 0723-61-2670~1

《 環境整備だより 》



～「ゴミ0の日」(環境整備の日)実施～

去る9月30日、本年度第2回目の「ゴミ0の日」(環境整備の日)を実施した。この行事は毎年恒例となっているが、今回より美原町にゴミ処理費用を負担してもらったことになった。

なお、この「ゴミ0の日」は各社周辺の土砂や雑草以外で、当日冷蔵庫や自転車その他産業廃棄物を出した先があったが、これらは対象外となっているので今後皆様に注意を促していきたい。



当団地内の環境整備事業も、事業開始7年目を迎え、友好企業未参画企業22社の参画もいただき、参画企業118社(組合員50社)(友好企業68社)となり、専従職員による日常清掃作業も広域になりましたが、順調に、効果的に作業も行われて来ていると思います。9月30日(水)に本年第2回目の「ゴミ0の日」(環境整備の日)を実施致しました。各会社のご協力をいただき、午前中に自社周辺の草刈、側溝の清掃等を行い、団地内12ヶ所の集荷場所にゴミ、草等を集荷し、美原町の指定業者により、2トントラック4台にてゴミ等の処理を行いました。

本年度の重点項目に入っています美原町への当事業への補助金要請を再三にわたってお願いに行っており、平成5年度より、事業補助の約束をとりつけました。当事務局の熱心さに美原町側より、今回の「ゴミ0の日」の処理費用を当方でトラックへ積み込みを行うという条件で、美原町の費用負担で、処理を行っていただいた事を報告いたします。

環境整備の問題は、それぞれの企業、社員ひとりひとりのモラルの問題にあると思います。自分だけの事でなく、他人の事も考え、タバコのポイ捨てや、空缶のポイ捨て、さらには迷惑のかゝる駐車の問題をそれぞれの立場で、美化、迷惑防止等を考える事により、よりクリーンで働きやすい環境が保てるのではないのでしょうか。環境整備事業の中で大きく占めるのが人件費です。美原町より来年度より「ゴミ0の日」の補助・街路樹の手入れ等の補助をいただく事になっています。本年より会費の値上げもお願いいたしました。組合創立30周年事業の一つとして、組合員企業に防犯灯(友好企業については希望社を募る)を設置するほか、よりよい環境にすべく努力いたします。会員皆様におかれましてはより一層環境整備事業にご協力いただきますようお願い申し上げます。

環境整備事業委員会 和 中 禎 造



## 《ちょっと一言》

### “1分間の価値”



(クボタ精機㈱)  
小沢敏明



日常の仕事の中でも、私達はよく「1～2分待って下さい」という言い方をすることがあります。このように分単位の時間は私達にとっては、それほど長い時間ではないし、むしろ短すぎる時間という感覚があるのは否定できないところです。しかし考え方によるとこの1分間も馬鹿になりません。もう15年も前の事です、私達の親会社がデミング賞（品質管理を実施して効果のあがっている会社に与えられる賞）を受ける事になり会社の中で準備をする為、いろいろな会議や打ち合わせが行なわれ始めましたが中々思うように人が定刻に集まらず、遅れてくる人の為に先に来た人は時間を無駄にする事が多く、あるとき1人の人が時間をお金に計算仕直すといくらになるかを全社に徹底しコスト意識を高める事を提案しました。その結果、1分間を無駄にすると会社全体で数10万円の損失になる事を共通の合言葉にして認識し、事あるごとに話題に出すようにしました。

時間というのは空気と同じようなものではないでしょうか。ふだんは何となく使っていますから、そのありがたさがわかりません。しかし、その1分の価値を考えると、どんな損得があるか、はかりしれないものがあるのです。1分間といってもアダやおろそかにはできません。世の中で成功した人は、生まれ出てすべての人に平等に天から与えられたこの時間を誰よりも有効に活かした人達と言えます。“1分間を笑うものは1分間に泣く”こんなシャレも的はずれではなさそうに思えます。

## “ウッドルーム大阪”だより



### ◎ 第7回木のふれあいツアー開催



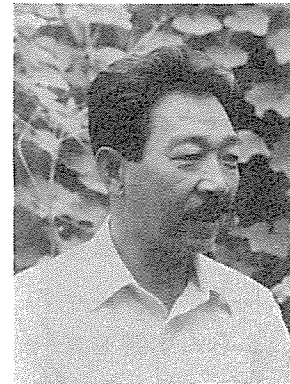
去る、9月19日（土）・20日（日）にウッドルーム友の会恒例の“木のふれあいツアー”が万葉集ゆかりの地で古代ロマンを求める“山陰路木のふれあいツアー”と題して、参加者22名で開催された。今年は、木の文化、雛の文化の館、流しびなの館の見学をメインに永遠の故郷—山陰路を漫遊し、「木」と「雛」と「人の心」にふれあった有意義なツアーであった。

## 《私のオアシス》 -その6-

### 油絵称賛



事務局 山本郁生



私の油絵は美術学校へ行って習ったものでなく、言わば自分勝手に自分の書きたいものを画くといったもので、絵を画いて自分がそこに憩いを求め、感性を磨きつつ情熱を燃焼させるもので、もしも私の油絵を貰ってくれた人が喜んで大切にしてくれるならば、これに越す喜びは無いと思っているし、また尋ねた先に自分の画いた絵があったりするととても懐かしい気持ちになって、画いたその時を思い出させてくれます。昔は絵を画くことを真剣勝負の様な状態で画いて居りました。夜中に目が覚めて眠られず、キャンパスの前で夜を明かす事も度々有りました。画いても画いても泥沼にのめり込み、

もがけばもがくほどパニックに落ち込んだことも幾度か有りましたし食事も喉を通らないなんてこともありました。そんな時は決して、美術展出展まぎわに成っても作品が完成しないような時で、絵を画く事が楽しいなぞと言うものではなくむしろ苦しみの連続でした。正式に絵を習ったものでないと言っても、私も先生に就いて教わっておりました。

第3回二記会、二記賞授賞者 前田嘉男先生で、先生は東京美術学校時代人ぞ知る佐伯祐三と同期生で、アトリエを2人で使った仲であったとか。先生は学生時代から帝展に入選され、学生時代から将来を属望されて活躍された人物でした。教職を退官されて、郷土に帰られてからも街の発展のため、また美術を愛好する後輩育成のために絶大な貢献をされたのであります。先生を慕い教えを乞うた者は数知れません。先生はいつも優しく私達を向かえ入れて下さいました。しかしながら芸術の道では厳しく誰でもが先生のアトリエに入れると言う訳ではありませんでした。先生の教えのお蔭でいろいろな美術展に出展し入選も入賞もしましたが、一度も先生には褒められた事はありませんでした。いつももっと大きく、もっと深く、マチエールを大切に教えて下さいました。先生の絢爛荘重な油絵は、観賞する私達に美しいものへの憧れを植え付けてくれました。

現代絵画の表現の多様化は、マスメディアを通して大河に連なる支流に似て、そのおびただしい数の支流が、その清冽な流れの中で芸術性を高揚しつつ発展しております。あまりにもその数の多さととまどい、時として流される私ですが、曇りの

ない目を持って大河の合流を見さえるべきなのではないでしょうか。しかし今の私には、100号のキャンパスを前にして、美術展への作品制作に意欲を燃やすエネルギーは既に持ち合せておりません。たゞいくら歳老いても、のんびりと楽しみながら、若い女性や美しい花をモチーフにして、いつまでも絵画を楽しんで生きたいと願っています。ミナサーン、いつまでも若々しく、ハナバナしく生きようではありませんか？

～ “味” 散歩 ～

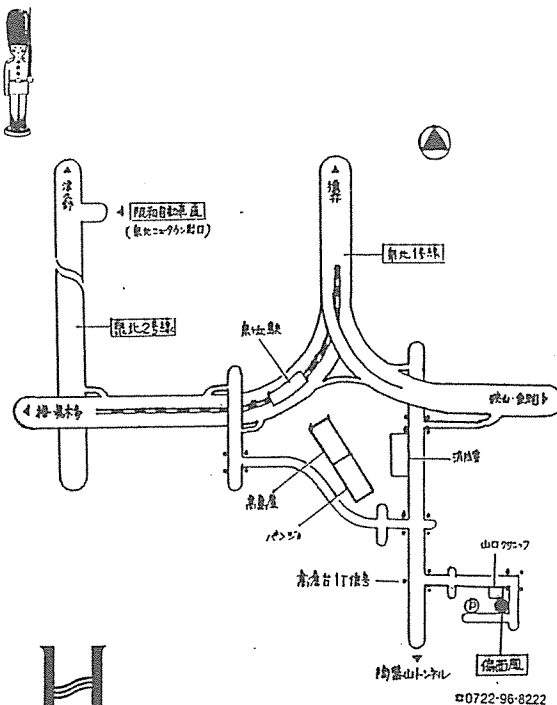


泉北ニュータウンの緑豊かな住宅街の中の公園の前に、外観は一見美術館風なレストラン「偏西風」がオープンしました。19世紀ドイツの大きなアンティークなドアを開いて一步店内に入れば、正面ホールを挟んで左側は、ふらんす膳をコースで楽しめるレストラン、右側は輸入洋食器売り場、店内を見渡せる2階は和食器売り場になっています。

バースディやカップルの記念日に幸せの美味を囲んで、母の日に父の日に、和の鮮度を取り入れた創作コース料理。ホテルで一流の修業を積んだシェフが、旬の素材に季節感を盛り込んだディナーとランチ。アフタヌーンティには小粋なオリジナルケーキをお楽しみ下さい。

◇◇ メニューのご案内 ◇◇

- ☎ ランチタイム 11:30AM～2:00PM
  - クイックコース 2,800
  - コースA 4,000
  - コースB 6,000
- ☎ ティータイム 2:00PM～5:30PM
  - ドリンク
  - コーヒー 600
  - ライトコーヒー 600
  - ティー 600
  - フレッシュジュース 700
  - ジンジャエール 400
  - デザート
  - デザートA、B、C 1,100
  - ケーキ
  - ケーキA、B 400
  - デザートセット 1,600
  - ケーキセット 950
- ☎ ディナータイム 5:30AM～10:00PM
  - コースA 6,000
  - コースB 8,000
  - コースC 10,000



“木栄会だより”

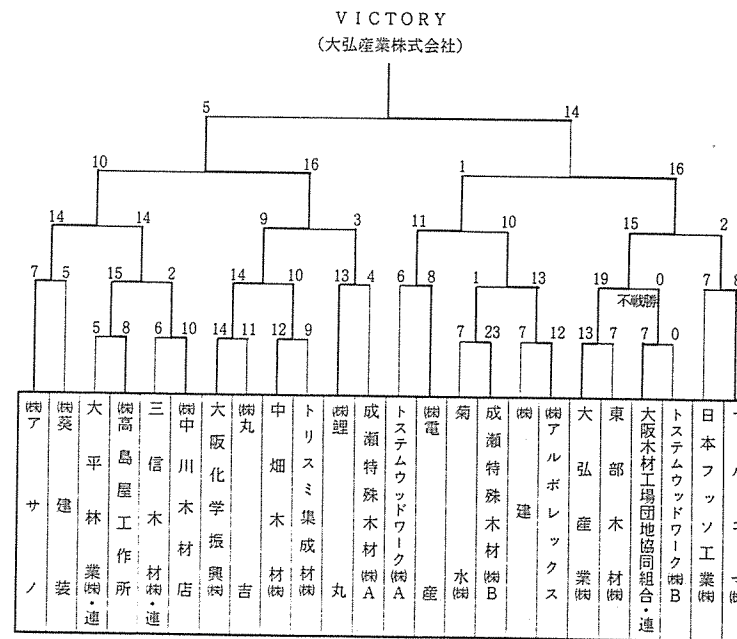


◎ 8・9・10月度実施事業

事業名	実施日	参加人数	概要
PL花火大会 駐車場設置	8・1	17名	組合会館向い側遊休地において大型観光バス駐車場を開設。
日本敷物団地 盆おどり大会	8・9	7名	日本敷物団地協内グラウンドにおいて木製品・木工工作キット等の模擬店を開設。
研 修 会	9・17	25名	「ウッドリーム」大阪研修室において、KONANコミュニティカレッジの社長 川西修氏を迎えて「パートナーと歩む、交流会の素晴らしさ」をテーマに研修会を行った。
ソフトボール 大会	9・23	26社 24チーム	組合創立30周年記念事業の一環として、青少年グラウンドにおいて、開会式を行い各チーム、トーナメント方式で和やかに競いあった。
木材団地まつり (第8回)	10・24 25	延べ 44名	木材団地まつり(第8回ウッドフェア)に協賛しビール、ジュース、金魚すくい、ヨーヨー祭り、端材等の模擬店を開設。

組合創立30周年記念

ソフトボール大会トーナメント表



連=連合チーム：三信木材樹・樹関西ランバー・南福井木材商店  
大平林業樹・大阪単板工業樹  
大阪木材工場団地協組・浦本木材樹



榎 (ぶな)



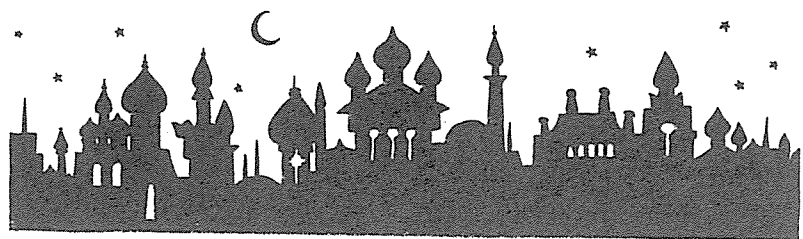
府は9月の補正予算案で、7億7千万円を投じて国の天然記念物に指定されている和泉葛城山のブナ林の保護育成に乗り出すことにした。標高800mほどの山腹に10haにわたって広がるブナの原生林の周辺域49haを買収して、とりあえず保全しようとするわけである。

「府下でも金剛山や能勢など他にもあるのに南限とはいえ、なぜ和泉葛城のブナ林だけが天然記念物として優遇されるのですか」と問うと、

「あそこらは、せいぜい百本程度やが、うちは千本超えてるからね」と貝塚の保護会長は規模のちがいを指摘した。が、上には上があるもので、青森の八甲田山麓のブナ林は日本有数のものであり、計算にもよるが数万haにも及ぶ規模である。

明治35年1月23日、ときの弘前第8師団隷下の青森歩兵第5連隊の将兵210名は、雪中行軍訓練に八甲田山麓踏破を決行したが、折からの吹雪に巻かれて方向を失い遭難し、生還者わずかに11名という悲惨な結果を記録した。しかし、同時期、同じ隷下の弘前歩兵第31連隊も八甲田に行軍を試み、やはり猛吹雪に遭遇したが方向を確保して全員帰還した。その方向を知る手掛かりとなったのがブナの木の特徴だったという。ブナの大木は北側に特有の苔が生えるので、それで方向が確保できたのである。さきの戦争では青森連隊はレイテ島で、弘前連隊はマニラの南方のナスグブ湾に敵前上陸してきた米国陸軍第11空挺師団他との激戦で、それぞれ潰滅、護国の鬼と化した。

縄文時代より続く東日本のブナ・ミズナラ林文化圏は、西日本のカン・シイなどの照葉樹林文化圏よりもはるかに卓越したものだ。また、20年ほど前まで無用材の代表格だったブナは今は花形である。



【 団地内の動き 】

“ 木材団地まつり ” ( 第8回ウッドフェア )



盛況裡に開催される！



当組合の秋季恒例行事、“木材団地まつり”(第8回ウッドフェア)は、去る10月24日(土)・25日(日)の両日、メッセ美原及びウッドリーム大阪両特設会場において盛況裡に開催された。

24日は昼すぎまで雨模様であったにもかかわらず、来場客は両会場で延27,500人・売上高はトータルで8,500万円となり共に過去最高を記



録した。

今回の催しの大きな特徴は、卸売(物販)をメッセ美原会場で、イベントはすべてウッドリーム大阪で実施し会場を2分したこと、メッセ美原会場周辺に歩行者天国と車輛一方通行区域を設けたこと、物販会場においては新しく雑貨コーナー(カーペット・陶器・電気製品・衣服他)を設けたこと、イベントコーナーにおいて組合創立30周年記念事業の一つとして、もちつき大会(25日午前中)を実施したことなどが挙げられる。

物販会場においては、所狭しと揃えられた商品を、この日を待ちかねた一般消費者に大廉売が行われ、会場は終日活況を呈していた。

一方、イベント会場では、もちつき大会のほか福引・記念モニュメントの展示(第8回の開催記念として制作した木製日時計)・木工クラフト展(美原町校区、小学6年生・中学2年生総数450作品の展示会)・木工教室が行われ、またウッドリーム大阪2階の常設展示場・中川記念室にも多数の見学者が訪れ、「木材」をアピールし、その利用普及において大きな意義があったといえよう。

なお、今回のこの催しの成功は、組合員全社の力の結集であり、“木材団地祭”としての位置づけへの大きな飛躍であった。



～広報掲示板の設置のお知らせ～

組合創立30周年記念事業の一環として、組合会館南側“やすら木”の隣に広報掲示板が設置された。

この掲示板は、組合・組合員・地域などで行うイベントや行事・講習会・展示会・各社の従業員募集など、各種情報の発信基地として利用していただくという目的で設置されたものである。

各種情報をご覧になりたい方、各種情報を発信されたい方は、広報掲示板を是非ご利用下さい。詳しくは組合事務局までお問合せ下さい。

#### 「団地内道路の舗装工事実施のご案内」

今回、美原町により団地内道路一部の舗装改修工事が下記のとおり実施されることになった。

記

#### ○実施道路（二箇所）

1. 一条筋北側（モリ工業㈱から住宅地にかけて）の一部
2. 南通り（弥栄電線㈱からステンレスパイプ工業㈱にかけて）の一部

#### ○実施時期

平成4年11月中旬着工、来春1月完工予定。

※1.の道路から着工する予定。

### “事務局だより”

#### ◎ ドライテック美原のご利用について

去る、3月に全国的にも例を見ない最新鋭の設備を導入し竣工したドライテック美原（木材乾燥工場）は竣工後7ヶ月が経過し、屋内、屋外の保管スペースの不足を補うための改善工事も10月中旬に全て完了いたしました。

新工場は従来の蒸気式乾燥設備に加え、高品質の乾燥仕上がりを可能にするソーラシステムを取り入れた予備乾燥設備、構造材やツキ板材などの乾燥に適した高周波減圧乾燥設備等の導入によりバラエティー豊かな乾燥が可能となり、幅広いユーザーニーズに対応できる設備となっております。

特に予備乾燥設備は極めて低い温度で乾燥を行なうため材の損傷（割れ、曲がり、反り）がなく、また時間をかけて乾燥を行なうため歩減り（収縮）がほとんどなく、品質の安定した仕上含水率15～18%前後の乾燥に最適です。

組合員の皆様のご利用はもちろんのこと取引先等で木材乾燥のご用命がございましたらご紹介いただきますよう宜しくお願いいたします。

なお、昭和56年以来一度も改定をされていなかった木材乾燥賃をこの度全面見直し、改定（10月21日以降の入荷分より）させていただいておりますので、乾

燥価格等詳細及び木材乾燥に関するご相談は、何なりとご遠慮なくドライテック美原（TEL 0723-61-2798 担当：森・桐田）までお申しつけ下さい。

#### ◎ 平成5年度新年互礼会について

新春恒例の新年互礼会について、平成5年度は組合創立30周年記念事業の一環として下記日程で開催される予定です。

なお、詳細については、後日ご案内いたします。



記



開催日時 : 平成5年1月14日（木）

開催場所 : 南海サウスタワーホテル大阪

### 【新刊書紹介】

#### ◇「1993年 大恐慌が来る」（宇野正美・学研）

株価12,000円割れになると、ソロモン・ブラザーズなどの日本企業買収が始まる。これを阻止することをも含めて景気回復を図るには、株の「裁定取引」を完全規制する他にはない。が、日米欧委員会に牛耳られている日本政府にその度量はあるか、と宇野さんは問う。

建国以来イスラエルに送金し続けてきた米国だったが、2期目を目指すブッシュは、同じくゆすられてきたコールを誘って今限りイスラエルを見切ることにした。のみならず、国連の名で「第2のイラクに仕立てあげ」を目論む。「国連に刃向かうものは悪」という図式、つまり国家主権の次元に留まる国は国際主義を避けるものとして処断するというのである。が、その世界連邦なるものが曲者だという。4島不返還を断言するロシア自民党首ジリノフスキーに留意せよとも。

#### ◇「日本暦日原典（第4版）」（内田正男・雄山閣）

どの程度に物が分かっている、あるいは逆に、いかに分っていないかを確実に分からせてくれる、そのような本の一つ。内田先生は天文・暦学の泰斗で、これは世界的な名著である。この本では允恭天皇の34年1月1日は、西暦445年の1月25日（現行太陽暦）だったということから始まって、明治天皇の5年12月30日に至るまで、1日も欠けることなく、「ある旧暦の日付が現行太陽暦の何年何月何日に当るのか」ということが、実に簡単に分かるようになっている。

それは、「その旧暦の日付より1を減じた数をその旧暦の月の朔日に当る太陽暦の日付に加えれば得」られる。例として、「ときは元禄15年12月14日」は、『原典』のその欄を見て、「その12月朔日は1703年1月17日」であることが分かる。したがって、 $(14-1)+17=30$ 。つまり、俗年表に見る西暦1702年ではなく、翌1703年1月30日だったわけである。

# ◎ クロスワードパズル No. 26

(応募方法) パズルNo.26の答えと会社名、氏名を明記して、組合事務局編集部へご回報下さい。(解答1枚に1名様、ファックス可、友好企業の方もご応募下さい。)

(賞品) 抽選により正解者5名の方に賞品(特製テレホンカード)を差し上げます。

(締切日) 平成4年12月10日 (発表) 本誌1月号



## ヨコのカギ

- ①こんな——に起きているのは泥棒か、受験生か
- ④卵がかえることです
- ⑦パーティなどでひとり壁にもたれている、もてない女性
- ⑨顔についたりすれば真っ黒になる
- ⑩12月24日の夜にぶら下げるもの
- ⑪夜中の火災原因の第1位、愛煙家は十分に気をつけてください
- ⑬審判の判定などに対して観

客から起こる不満の声

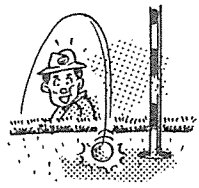
- ⑤熱帯アジア各地で栽培される——の木、その実を煮るとジャガイモのような味かするそうです
- ⑥ボクシングの試合では、当日の朝行われる
- ⑦ホテルの——で待ち合わせ
- ⑨畳やじゅうたんにも、また古くなった縫いぐるみなどにもいますよ
- ⑫幼犬に多い急性伝染病で、高熱を発生し神経障害を起こし、死亡率は50パーセントにも達する

- ⑥審査の判定などに対して観
- ⑧おじいさんなどが、自分のことを、ちよいと感張っていう語
- ⑤夏の水不足の原因はこれです
- ⑥都会に出ていった子供がやがて戻ってくる——現象も見られる
- ⑧おじいさんなどが、自分のことを、ちよいと感張っていう語



## タテのカギ

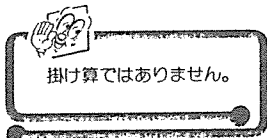
- ①「陰」の反対
- ②かずかずの大衆的歌曲を作り、晩年は酒と結核で放浪生活をつづけたアメリカの作曲家
- ③個々の場合にに応じて問題を処理すること
- ④フツフツいってないで、——があるならちゃんと言言してください
- ⑤夏の水不足の原因はこれです
- ⑥都会に出ていった子供がやがて戻ってくる——現象も見られる
- ⑧おじいさんなどが、自分のことを、ちよいと感張っていう語



- ①登山用のシュラフ
- ②あの人とは——にしており、いっしょに遊びにも行く仲ですよ
- ④ゴルフで「オンする」といえば、ボールが——にのること
- ⑤要するに粉ですよ
- ⑥——麗句を連ねる

★ぜひ知っておきたい最新用語が答えに出ています。二重ワクの文字をABC……順に並べてください。なお、その用語の簡単な説明が答えの欄に記してあります。

1	2	3	4	5	6
7			E		8
	9		10	A	
11		12			13
14			15		16
	17				18
	19				20
			D		
					B



パズルNo.25 正解、当選者発表(敬称略)

- 笠置登喜子(協 大阪ツキ板センター)
- 坂本 節子(浦本木材㈱)
- 辻 藤子( " )
- 桑原 幸江(山王木材㈱)
- 奥野 真弓(ヤマキインテリア㈱)

ママツキヤエヌアノコニキヨミシ(松置や連えぬあの手には気をつけ)

## 〔 編集後記 〕

広報紙“あたらしき大地”第50号の発刊を契機に今回より友好企業の皆様を含めた情報交流紙として生れ変わることになり、配布対象も拡大することにいたしました。本紙についての皆様のご意見等がありましたら編集委員までお寄せ下さい。

なお編集委員のメンバーは次のとおりです。

- 橋本 健介(㈱葵 建 装)      小沢 敏明 (クボタ精機㈱)
- 田中 繁男(有田中木材店)      津野 準 (三和ニューマルチ㈱)
- 井上 嘉織(㈱電 産)              吉村 諦一 (組合事務局)
- 磯口龍一郎(共立木材㈱)          和久田美恵子 (同 上)